

## 高齢者の聞こえのバリアフリーについて

質問者 大 坪 国 広

65歳以上の高齢者の半数に難聴があると推計される。難聴になると、家族や社会からも孤立しやすく、ひきこもりや認知症になるリスクが高まります。そこで次の3点について町長の所見を伺う。①聴力低下がみられる方へ早期からの補聴器使用の重要性についての認識は。②加齢性の難聴を早期発見できるよう検診窓口を設置すべき。③高額な補聴器の購入・調整費用の支援を東京都に求め、町としても取り組むべきと考えるが。